

パテントマップを使った特許情報の活用法

企業の活動を最も正確に把握できるのが「特許情報」です。しかし一つ一つの特許を点として見ただけでは、その企業の開発戦略は見えません。その企業の特許出願の時間的流れと技術的な傾向を読み取り、特許以外の情報と組み合わせて、初めて開発戦略など企業の動きが見えてくるのです。一つ一つの情報を時系列に並べて整理すると、そこに新しい情報が見えてくる。これがパテントマップの考え方に繋がります。一方で、機械頼りにただグラフや統計を作っただけでは、その意味や導き出すべきものを理解できないケースもあります。

本セミナーでは、企業において調査、パテントマップ作成に携わった講師の経験を基に、活用場面を想定した情報の収集、経営や研究開発のみならず、人材開発の方向性まで探ることができるパテントマップの考え方、作成方法について、演習を交えて解説します。

参加無料

事前申込制
定員になり次第締切ります。



平成23年 **3月15日(火) 13:30~16:30** (受付 13:00~)

場所：(財)埼玉県中小企業振興公社 研修室
(さいたま市大宮区桜木町 1-7-5 ソニックシティビル 10 階)

定員：60名

今後のセミナー開催
予定などはこちらの
モバイルサイトへ！



セミナープログラム

13:00~
13:30~

受付開始

セミナー「**パテントマップを使った特許情報の活用法**」

1. 特許情報の活用
2. 研究開発とパテントマップ
3. パテントマップ作成方法と活用
4. パテントマップ作成と活用事例

表計算ソフト（エクセルなど）の使い方／技術動向／企業動向／水耕栽培／
食品包装材料／超臨界流体による環境保全技術／携帯燃料電池／
担子菌由来の保健機能食品／マップ活用による開発事例

講師：**隈元 光太郎** 氏 日本アイアール株式会社・知的財産活用研究所顧問

16:30

終了

※プログラムの内容は予告なく変更になる場合もございます。予めご了承ください。

講師紹介

隈元 光太郎 (くまもと こうたろう) 氏 日本アイアール株式会社・知的財産活用研究所顧問

1957年3月 東京理科大学 理学部応用化学科 卒業。同年4月 呉羽化学工業(株) [現:(株)クレハ] 入社。
同社 福島県錦工場勤務の後東京研究所主任研究員、特許部、産業調査部主査などを経て、1986年特許調査部調査班長、1997年知的財産部担当部長、1999年3月定年退職後、日本アイアール(株) 知的財産活用研究所 顧問 (現在に至る)。

2001年8月~2004年7月 ジー・サーチ(株)「知財部ドットコムサービス業務」の監修業務を担当(委託契約)
2005年~ (社)企業研究会：BRI人材ネットワーク・サービス 主任講師

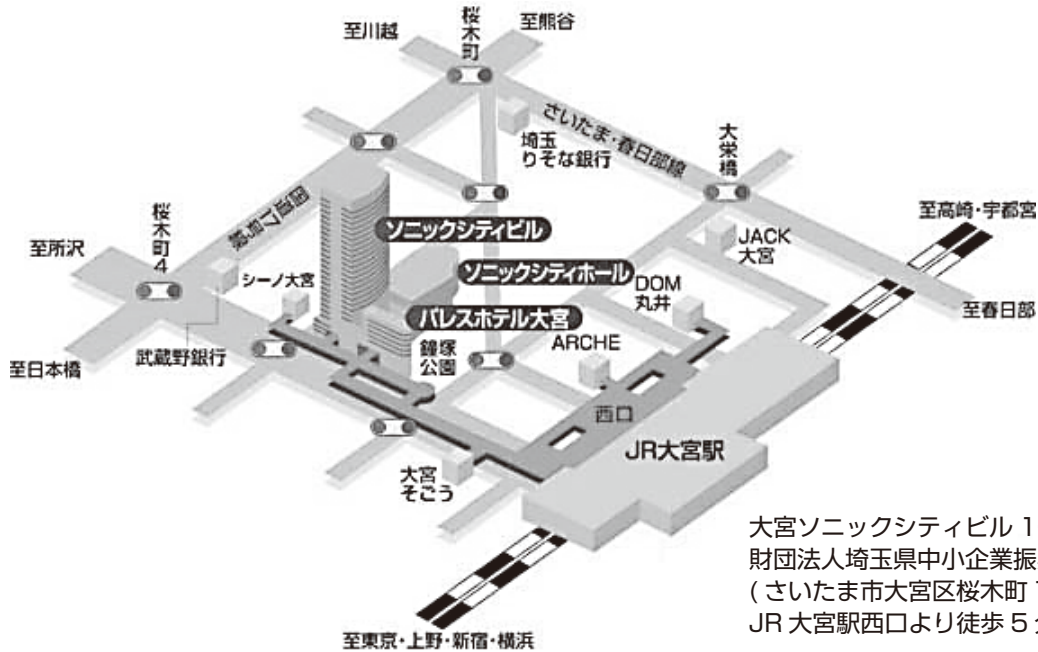
**主催：広域関東圏知的財産戦略本部 (関東経済産業局)・特許庁・
知的財産総合支援センター埼玉**

実施機関：社団法人発明協会

お申込・お問合せ先

下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。
 (財) 埼玉県中小企業振興公社 知的財産総合支援センター埼玉
 TEL : 048-647-4245 FAX : 048-645-3287

会場案内図



参加申込書

平成 23 年 月 日

(財) 埼玉県中小企業振興公社 知的財産総合支援センター埼玉 行

FAX : 048-645-3287 TEL : 048-647-4245

平成 22 年度 中小・ベンチャー企業向け知的財産セミナーのご案内
 「特許マップを使った特許情報の活用法」

開催日時 : 3月15日(火) 13:30 ~ 16:30 会場 : (財) 埼玉県中小企業振興公社 研修室

事業所名	(フリガナ)	業種	
所在地	〒	主な製品等	
		資本金	万円
電話	FAX	従業員数	名
参加者	所属部署・役職名	氏名	
		(フリガナ)	
		(フリガナ)	

【お願い事項】 ◆原則として先着順とします。お申込受諾の連絡はいたしませんので、直接会場へお越しください。
 ただし、申込者多数の場合には、埼玉県内の中小企業の方々に優先させていただきますので、あらかじめ御了承ください。
 参加をお断りする場合には、事前にご連絡をいたします。
 ◆公共交通機関をご利用の上お越しください。

※ご記入いただいた個人情報は、主催者において今回のセミナーにかかる事務処理、今後のセミナー等のご案内 (DM、メールマガジン等) 以外には利用いたしません。また、承諾なく第三者に提供することはありません。

